
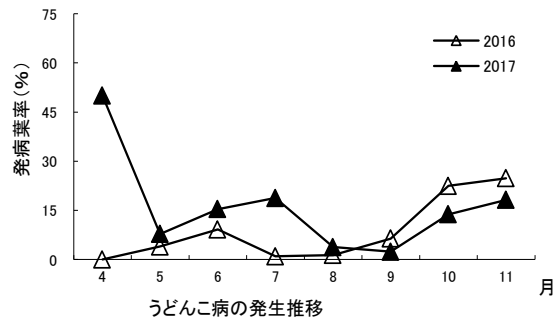
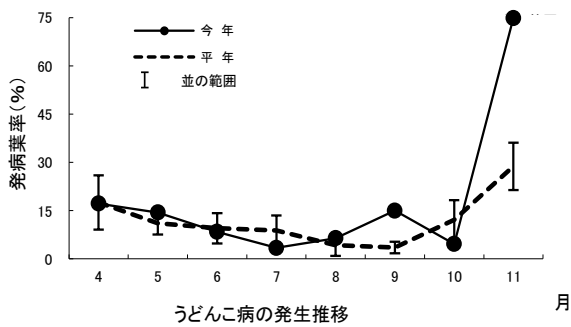


作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	① うどんこ病		
11月の発生量（現況）		多	
12月の増減傾向		↗	
増減傾向の根拠		収穫後半のため草勢の低下が見込まれることから、11月より発生量は増加すると考えられる。	


発生量の根拠（調査結果）



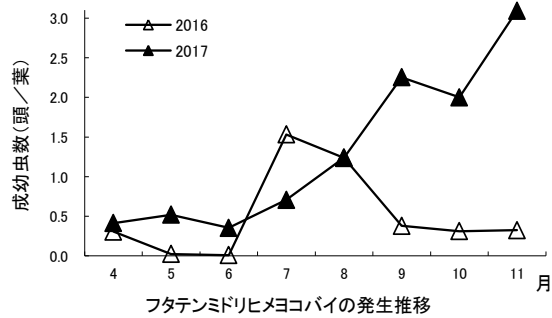
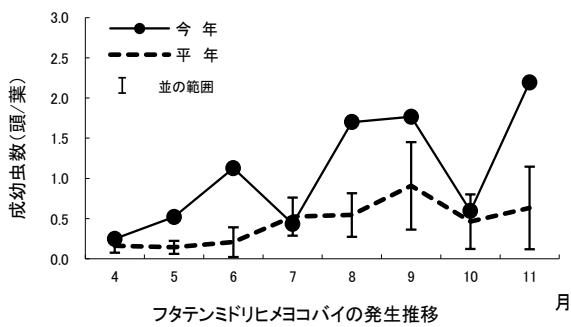
- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 発病葉率 (%) : 74.8 (前年18.2、平年28.8、判定「多」)

防除のポイント

- ・ 不要な老葉・下葉を除去し、透光通風をよくする。
- ・ 発生源となるほ場及び周辺の除草を徹底する。

作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	② フタテンミドリヒメヨコバイ		
11月の発生量（現況）		多	
12月の増減傾向		→	
増減傾向の根拠		今後1か月の気温が平年より高い見通しから、11月と同程度の発生量と考えられる。	


発生量の根拠（調査結果）



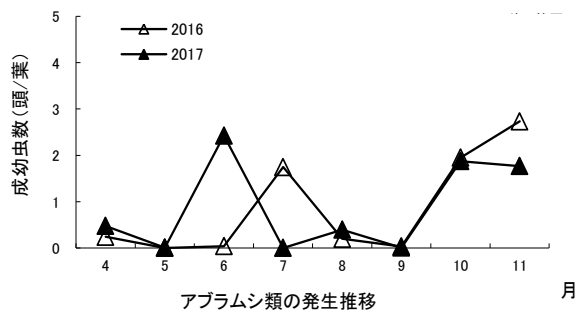
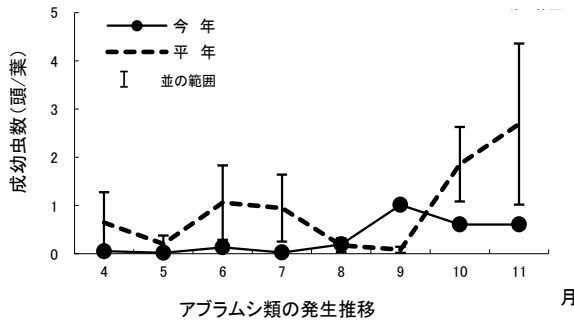
- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 成虫・幼虫数（頭/葉）：2.2（前年3.1、平年0.6、判定「多」） ※一部ほ場で多発

防除のポイント

- ・ 多発すると吸汁加害により葉の萎縮や黄化が進み生育が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・ 発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
11月の発生量（現況）	やや少		
12月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	今後1か月の気温が平年より高い見通しから、11月と同程度の発生量と考えられる。		


発生量の根拠（調査結果）



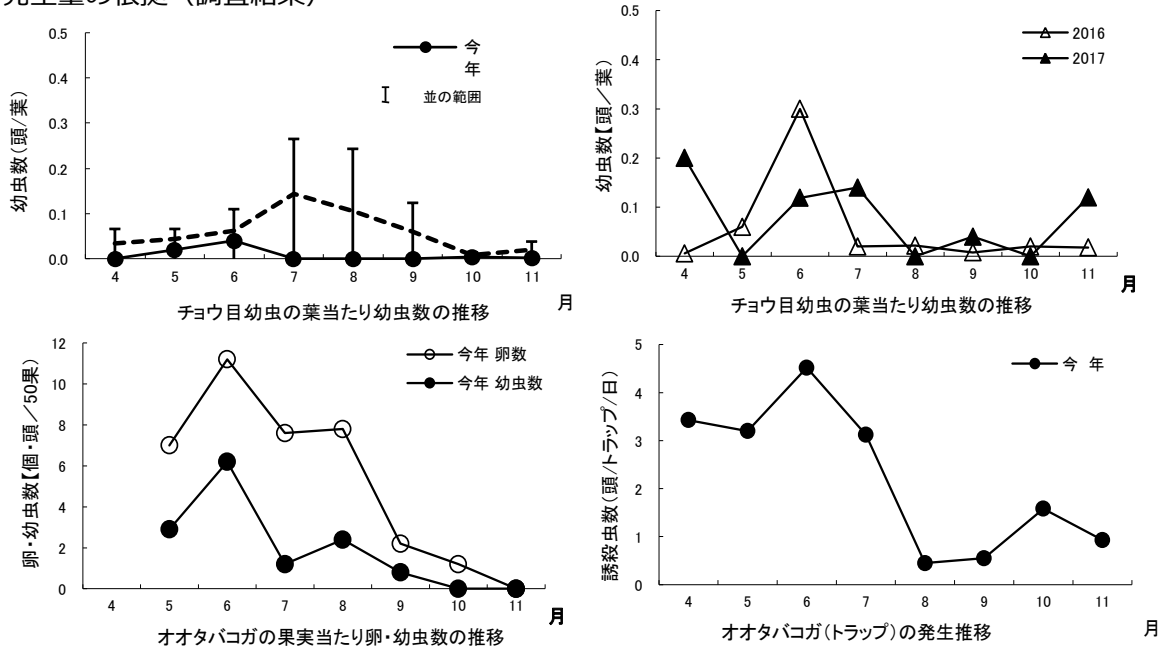
- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 成虫・幼虫数（頭/葉）：0.6（前年1.8、平年2.7、判定「やや少」）

防除のポイント

- ・ 多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生育が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・ 発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ	地域	八重山群島
病害虫名	④ オオタバコガ		
11月の発生量（現況）	並		
12月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	今後1か月の気温が平年より高い見通しから、11月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）



- ・ 調査地域：石垣市
- ・ 葉当たり幼虫数（チョウ目、頭/葉）：0.1未満（前年0.1、平年0.1未満、判定「並」）
- ・ 果実当たり卵・幼虫数（個・頭/50果）：卵0、幼虫0
- ・ トラップ誘殺虫数（頭/日）：0.9

防除のポイント

- ・ 発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・ 老齢幼虫では薬剤効果が低下するので、若齢幼虫期のかすり状被害を確認したら速やかに防除を行う。